

越前海岸ワーケーション 体験レポート

ワーケーション期間中の写真・所感

【1日目】

石川県金沢市の自宅から自分の車を運転して、一人で福井市に向かいました。最初に越迺サテライトオフィスに向かいました。途中 SA で休憩したのを含めると 2 時間 15 分程度の道のりでした。

10:00～「越迺サテライトオフィス」で仕事

ワーケーションといわれてはじめてイメージしたのは、海がみえる場所で PC を開いて優雅に業務を行う感じでした。まさしく越迺サテライトオフィスはそういう場所です。なので初日の段階で、ワーケーションにおける大きな目標は達成できた気がしました。そんな気持ちとは別に、やはり初めての場所にきたので、コピー機の使い方の確認をしたり、画面の見やすい位置に移動してベストな場所を探したり、など名も無き作業に時間をとられ、結果的に業務はそこまではかどってはいませんでした。



↑越迺サテライトオフィス 海と山に囲まれています。

早めの夕食を食べに、カフェ earth に行きました。越迺サテライトオフィスからは車で 5 分くらいの近くの場所です。カウンター席は和風な松のあるお庭の先に海が見えてとても見晴らしが良かったです。三種のフライセットとソイラテをいただきました。テンペカツ（大豆発酵食品）とベジミートフライ（玄米と大豆）はヘルシーでおいしかったです。



18:00～ オーベルジュフジフェルミエに到着

オーベルジュフジフェルミエに 2 泊しました。Wi-fi が完備されているのでここでも PC で仕事をすることができます。もともと実家を旅館として使えるようにリフォームしたとのことで、田舎に帰ってきたような安心感のある空間でした。オーナーの方もとても親切で穏やかな時間を過ごすことができました。



【2日目】

8:00 起床 宿で朝ごはん

朝ごはんは、オーベルジュフジフェルミエさんがお弁当を用意してくれました。おいしかったです。そのあと散歩のついでにオーナーが経営するヤギ牧場を見に行きましたが、ヤギが小屋にこもっていて姿を確認することは、残念ながらできませんでした。

9:00 越廼サテライトオフィスで仕事

30分ほど車で移動し、越廼サテライトオフィスに行って仕事をしました。場所に慣れて一日目より業務がはかどりました。PCのCADで設計業務をしましたが、静かで少し波の音が聞こえる環境でとても集中して作業をすることができました。

13:00 魚屋の喰い処 まつ田で「まつ田せいこ丼」を食べる

「福井に来たからには蟹を食べねば」と思い、サテライトオフィスで出会った地元の方におすすめされたまつ田で「まつ田せいこ丼」を食べました。せいこ蟹が1匹まるまる盛り付けられたどんぶりです。豪華なお昼ごはんで満足できました。



14:00 ワタリガラススタジオで吹きガラス体験

うみたんのワタリガラススタジオで吹きガラス体験をしました。少し高台の海の見渡せる場所にあるおしゃれなスタジオでした。丁寧に説明してサポートしてもらいながらガラスのコップをつくることができました。いいお土産ができました。



16:00 日帰り温泉

宿の近くにある鷹巣温泉に行って早めの時間に温泉に入って宿に戻りました。海が見える珍しい露天風呂でした。

17:00 オーベルジュフジフェルミエ

前日よりも早めに宿に戻り、時間があったので仕事をしました。一人だけの空間なので作業を集中して進めることができました。



←宿での仕事風景

【3日目】

3日目は有給をとり、観光を楽しむ日にしました。

9:00 ヤギとヒツジのえさやり体験

宿のオーナーの方が運営するヤギとヒツジの牧場にいきました。ご厚意でえさやり体験をさせていただきました。ヒツジもヤギも愛嬌があってかわいかったです。成長した姿を見にまた訪れたいと思いました。



11:00 福井市内の有名建築を見学

興味があった（海岸沿いの地域からは離れてしまったが）福井駅前にある有名な建築を見に行きました。

・開花亭 sou-an (左) 開花亭 kuri-ya (右)



開花亭 sou-an は建築家の隈研吾氏が設計した福井県福井市中央にある老舗料亭の別館で、ガラスのボックスがランダムな木の格子で覆われたモダンな建物です。向いに建つ、開花亭 kuri-ya (お弁当などを販売) も同じく隈研吾氏の設計です。

・福井県立図書館



福井県立図書館は、福井県福井市下馬町にある図書館です。建築家の槇文彦氏の設計です。外観は赤いテラコッタと打ち放しのコンクリートの2トーンで構成されていて、シンプルですが威厳のある色あせない名建築でした。



ワーケーション参加者へのアドバイス

海岸沿いの道路は外灯の無い道が多く、夜は車の運転に不安を感じるので、できれば暗くなる前に宿に帰るのを勧めます。wifi が完備されている宿であれば、PC で仕事の続きをすることも可能です。

仕事の内容によっては、ワーケーションで職場から遠い場所にいると不都合なことがあるので、あらかじめリモートが可能な仕事を行っている時期にワーケーションに行く計画にしました。事前に職場の上司にも、ワーケーションに行くことを伝えて、何かあったときフォローしてもらえるようにしました。

勤めている会社はいま、自宅でのリモートワークやワーケーションなどのやり方を模索している状況です。なのでワーケーションの感想・結果を社内で報告します。ワーケーションのような働き方がスムーズに行えるように今回の経験を生かしたいです。

もっていけばよかったもの

- ・USB（越廼サテライトオフィスのコピー機からデータを印刷するときに便利）
- ・ひざかけ、ブランケット（海が見えるように大きな窓になっているので冬は窓際にいると少し肌寒いかもかもしれません。）

ワーケーション施策に関するフィードバック

ワーケーションに行った人のレポートでの意見はとても参考になりました。たとえば、車がないと移動が不便ですというレポートを見て、車で向かったりするなど、事前にスケジュールを綿密にたてることができました。

宿のオーナーの方や、越廼サテライトオフィスで出あった地元の住民の方は、おいしいお店をおしえてくれたり牧場の案内をしてくれたり、親切な人ばかりでした。一人できたけど、地域の人と交流できて、いろんなお話を聞くことができ楽しかったです。人が親切なことはこの場所の大きな魅力だと感じました。

基本車移動で、移動時間も長いので、運転に耐力と時間をかなり消費した印象があります。（宿からオフィスまで車で 30 分程度かかるなど）海岸沿いのスポットを周遊するバスなどがあると、一人でも移動しやすいと思いました。